



学校だより 枕崎市立別府中学校

令和7年4月22日

第1号

別府の風

別中ブログ



「共に生き 共に学び 共に叶える ～別府の絆を誇りに～」

一校一風「礼を正し 時を守り 場を清める」

「ので・から」と「たら・れば」

校長 古市 正直

スポーツの試合中継番組の最後で恒例となっている「ヒーローインタビュー」。そのインタビューに、あるパターンがあることにお気づきだろうか。インタビュアーが「今日の試合、見事でしたね」。それに対し、「はい、みんなで力を合わせて練習してきたので、当然の結果だと思います」。とか、「ついに春に負けた相手にリベンジできましたね」。「はい、でも、春の屈辱があったから、苦しい練習を我慢できて、つかめた勝利だと思います」。

彼らはほとんどの場合、「～なので、～だ」、「～だから、～できた」というように、その勝因を「ので」「から」という言葉で過去と結び付けている。「ので」「から」は原因と結果をつなぐ言葉で、彼らはその栄光をしっかりと過去の出来事や取組と結びつけていることが分かる。

これは敗者のインタビューでも同じ。あるサッカーチームの敗戦後のインタビューは、「後半、うちのパフォーマンスが明らかに落ちてきたので、これからはそこが課題です」。そんな内容だった。勝ったにしても負けたにしても、それを自分の過去のあり方と結びつける。過去があるから現在があるわけだから、彼らは現在の自分を形作った過去に誇りや責任感を持っているわけだ。過去が生きている。

一方、過去を語るときに使うもうひとつの言葉がある。それが「たら・れば」だ。「あの時、スマホに手を伸ばさなかったら、こんなひどい点数は取らなかったのに」「君があの時やめると言ってくれていれば、先生に怒られることはなかったのに」。

未来に対して「たら・れば」を使うとき（「この宝くじで3億当たったら家を買おう」などのケース）は希望につながることもあるが、過去を「たら・れば」で語る時には、ネガティブな現在を生み出した過去への「後悔」や「恨み」となることが多い。「たら・れば」は仮定する場合に使う言葉だから、それは現実の過去にきちんと向き合うことにもならない。つまり、今の自分を作り上げた過去から逃げる無責任な状況だとも言える。基本的には何の役にも立たない。いくら後悔したって、過去は二度と繰り返さないのだから。

さて、みなさんはどうだろう。テストの成績や試合の結果が出たとき、自分自身の過去の取組を「ので・から」「たら・れば」どちらで考えることが多いだろうか？

是非、今年度は「ので・から」で振り返ることができるような別中生を目指してほしいものがある。

第79回 入学式

4月7日（月）本校体育館にて入学式を行いました。当日は、新入生の入学の喜びと充実した中学校生活を送るための決意が感じられるすばらしい入学式となりました。三年間の中学校生活を、悔いのないものにするために、勉強やスポーツに励み、充実した楽しい学校生活となるように多くのことを学び、実り多き日々を送ってください。また、目標をもち、夢に向かって挑戦し続け、有意義な中学校生活を送ってください。

御参加くださった来賓の皆様、保護者の皆様、これから3年間、本校教育活動への御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。



新入生を迎える会

4月10日（木）、体育館にて新入生を迎える会を行いました。

生徒会や部活動紹介等を通して、2・3年生から新入生に歓迎の思いを伝え、新入生の入学を祝福しました。部活動紹介では、各部活動の魅力を伝え、実際にプレーする姿に1年生から歓声があがりました。新入生は部活動への興味・関心が高まったようです。新入生を迎える会を通して、別府中学校のことを理解してもらういい機会となりました。これからも新入生が1日も早く新しい環境に馴染み、生き生きとした中学校生活を送れるように見守っていきます。



交通安全教室

4月11日（金）、交通安全教室で自転車に乗る上での注意点や交通安全に関する講話がありました。

講話では、自転車は車の一種なので、中学生でも加害者になることもあることや交通ルール等について説明があり、生徒は真剣なまなざしで聞いていました。自転車安全利用5則について理解し、交通安全に関する意識が高まったように思います。

自転車を使用する際は、「自分の命は自分で守る」ことを意識し、事故0・怪我0を達成できるよう安全指導を徹底していきます。



いじめ問題を考える週間 ～心の教育の日～

本校では、4月第2週と9月第2週を「いじめ問題を考える週間」と位置付けています。4月16日（水）は「心の教育の日」として、全学級「いじめ問題」に関する道徳の授業を行い、各学級で道徳の授業を通していじめや命の大切さについて考えました。

「いじめは決して許されるものでない」という雰囲気醸成といじめの早期発見のため「見つめる・思いをめぐらす・向き合う」M o mの共通認識で、いじめを「しない、させない、許さない。」いじめを自分たちで解決できる学校づくりを推進していきます。



転入職員紹介

この度の教職員定期人事異動で新たに6人の先生を迎え、職員17人、生徒63人で令和7年度別府中学校がスタートしました。



職 名	名 前	前任校 等
校 長	ふるいち まさなお 古市 正直	鹿児島市立鹿児島玉龍中学校
教 諭	はまだ りつや 濱田 睦也	鹿児島市立長田中学校
教 諭	おの はら まさひろ 小野原 雅啓	屋久島町立安房中学校
教 諭	わかまつ のぶゆき 若松 伸行	鹿児島市立吉野中学校
教 諭	つの まち 角町 ひかる	新規採用
講 師	おおたけの みきと 大竹野 幹仁	南さつま市立万世中学校
スクールカウンセラー	さいとう やすひろ 斉藤 康弘	

日（曜）	5月の主な行事予定
1（木）	授業参観・PTA総会・学級PTA
2（金）	小中公連合同歓迎会
3（土）	祝 憲法記念日
4（日）	祝 みどりの日
5（月）	祝 こどもの日
6（火）	振替休日
7（水）	全校朝会（地区陸上大会激励会）
8（火）	第1回実力テスト（3年～9日）
10（土）	土曜授業
12（月）	家庭訪問（～16日）
16（金）	市民あいさつ運動（別府中）
19（月）	集団宿泊学習（1年～20日） 修学旅行（2年～21日）
20（火）	職場体験学習（3年～22日）
27（火）	生徒朝会（保健部）
29（木）	地区中体連陸上競技大会

